

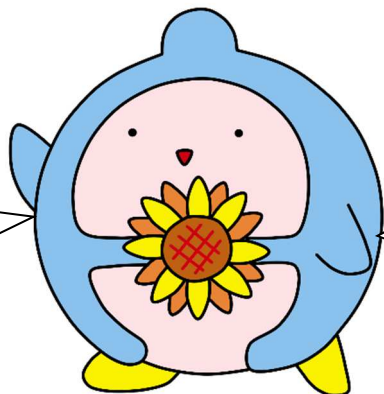


チャレンジ「**ゼロカーボン**」ふなばし
～ふなばしの力で“減らせ CO2”!!～



緑のカーテンの育て方

緑のカーテンに
必要なものは？



どうやって育て
たらいいの？

- 1 緑のカーテンに必要なものは？・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 ゴーヤによる緑のカーテンの育て方・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - ①土づくり・・・・・・・・・・ 2 ②種まき・・・・・・・・・・ 2
 - ③苗の定植・・・・・・・・・・ 4 ④つるが伸びたら・・ 4
 - ⑤花が咲いたら・・・・・・・・ 5 ⑥片付け・・・・・・・・・・ 5

【「緑のカーテン」は癒し効果満載です！】

緑のカーテンがあると、太陽の日射をさえぎることができ、バルコニーなどの床や壁の温度上昇を抑え、部屋の中へ侵入する熱をやわらげることができます。

このほかにも、緑に囲まれることで視覚に優しく、葉の揺れる音や蜂たちの羽音に聴覚でなごんだり、花の匂いに嗅覚を刺激したり・・・
もちろん、果実のなる植物であれば、味覚も楽しめます。
何よりも緑に囲まれて過ごすのは、心が癒されます。

皆さんもぜひ取り組んでみてください！



1 緑のカーテンに必要なものは？

ツル性植物の苗や種

アサガオ、ゴーヤ、ヘチマ、
フウセンカズラなど
近年、パッションフルーツや
メロンなども人気です。

プランター（直植えができない方）

実がなる植物の場合は、できるだけ
深めのプランター（野菜用など）で
育てるのがおすすめです。

土

育てる植物によって、土の種類も
変わります。
腐葉土など、いくつかの土を混ぜると
よいでしょう。

肥料

環境にやさしい有機肥料を
選びましょう。植え付け時に必要な
肥料（元肥）と、育成に必要な
肥料（追肥）があります。

ツルをはわせるネット

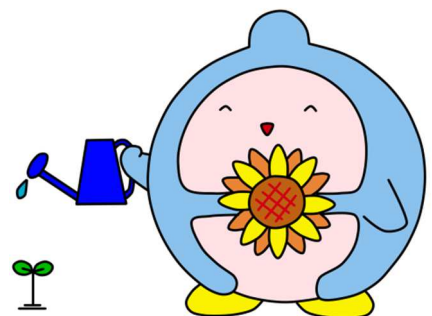
10cmの網目サイズがおすすめです。
設置場所によっては支柱も必要です。

害虫対策

人にも環境にもやさしい方法を
選びましょう。

その他の道具

ジョウロ
スコップ
軍手
エプロン
園芸用テープ
など



2 ゴーヤによる緑のカーテンの育て方

①土づくり【1ヶ月くらい前から土と肥料を混ぜて熟成させておくと元気に育ちやすくなります】

(1) プランターは野菜用の深いものを準備して、底に鉢底石をしきます。

(2) プランターの縁から1～2cmの深さまで土を入れます。

(3) 直植えする場合は、よく土を耕し柔らかくしておきましょう。

*ふるいに掛けて、ふるいに残った赤玉土5：黒土2：ピートモス1：バーミキュライト1：腐葉土1の配合で混ぜた土がおすすめです。

*市販の園芸土に苦土石灰を混ぜても作れます。「ゴーヤの土」も売られています。

*ゴーヤは中性～アルカリ性の土を好みますので、カキガラや卵の殻、アサリやシジミの殻を砕いたものを入れてもよいでしょう。苦土石灰も有効です。

②種まき ～上手なタネの発芽法～

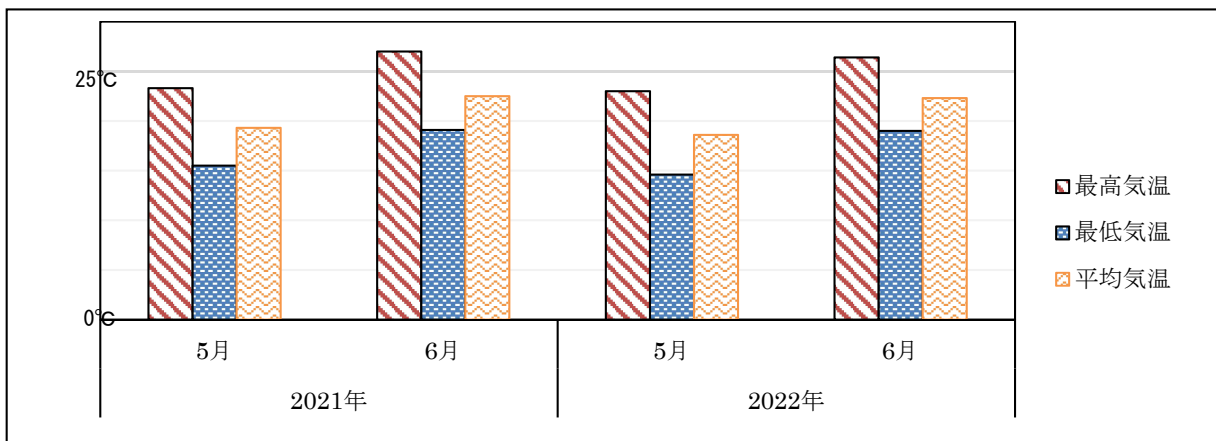
ゴーヤのタネは堅い皮に包まれているので、発芽には、

「コツと根気」

が必要です。以下のポイントをよく読んでから挑戦してみてください。

撒き時期

発芽適温は25度以上です。気温が低いと発芽しません。気象庁の船橋市のデータでは、



となっています。発芽は室内の温かいところでさせましょう。

タネの下処理

①先端をカット・・・これが発根のコツ！

タネをよく見ると片方の先端がとがっています。

このとがった方を爪切りなどで少しカットします。この時、中の緑の部分を傷つけてしまわないように注意してください。タネの中に水分が浸透するようであれば大丈夫です。



②ヒタヒタの水につける

小皿に水を張り、タネを入れて発根を待ちます。この時のポイントは「ヒタヒタの水」。タネも呼吸していますから、タネ全体が水にかぶってしまわないように。水が多すぎるとカビが生えたり腐ったりしてしまうことがあるそうです。逆に水が少なくなったら、浸る程度に水を足してください。多すぎず、少なすぎず、根気よく見守ってください。



③根が出るのを待つ・・・根気よく待つ！

5月でも平均気温は20度に届きません。発根するまでは暖かい室内で管理するかビニールをかけるなどして、**25度以上**を目標にした環境をつくってください。台所やリビングなどに置いておくのもよいかもしれません。ただし暗いほうが発根しやすいようです。

この状態で1日以上、できれば2日～1週間程度おき、タネから根が出るのを待ちましょう。

しかし、**気温が25度以下**の場合は発根まで1週間以上、中には1か月かかった人もいます。水の量に気を付けながら根気よく待ちましょう。

とは言え、この状態で根が出なくても「ダメもとで植えたら芽が出た！」という方もいらっしゃいました。あきらめずに挑戦してください。

種蒔き

苗用ポットに野菜用培養土をさっくりと入れ、発根したタネは根を下にして深さ**1～2cm**程度に植えます。毎朝水やりをし、あとは発芽を待つだけです。そしてこの時も**気温が大事**。**25度以上を保つよう暖かい場所(室内)**で管理をしてください。

およそ1週間から10日ぐらいで芽を出します。

移植

葉が5～6枚程度出そろったら、移植の時期です。

発根しない主な原因

- 温度が低い**……25度以下では発根に時間がかかります。時間がかかりすぎると、種にカビがはえたり、腐ってきたりしますので要注意です。
- ゴーヤの種を浸す水が多すぎる**……種は平らに、上面が水面から少し出るように。
- ゴーヤの種の先端を切りすぎている**……殻のみを切り、種の中を傷つけないように。

上手に発芽させて、「緑のカーテン」を作りましょう！

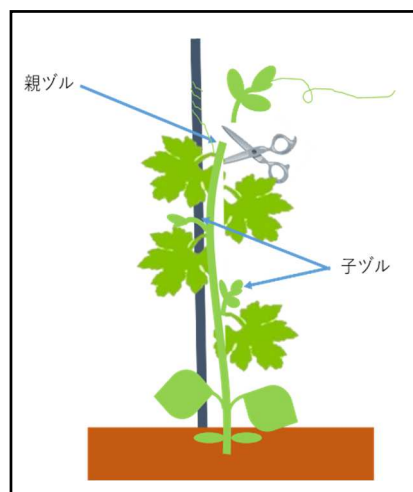
③苗の定植

- (1) ポットで種から育てた人や苗を購入（入手）した人は、葉が5～6枚程度になったら定植します。注意点は
- ・ゴーヤは高温を好むので気温が十分高くなってから行います。晴天の温かい日の午前中に植え付けると根付いて生長します。
 - ・ポットの底の根をきずつけないように土ごと植え替えましょう。
 - ・株の間はできるだけ離しましょう。（想定外に根が張ります。50cm以上を目安に）
 - ・双葉の下は3cmくらい、土から出るように。
 - ・植え替え後、土を叩いて固めないようにしましょう。

④ つるが伸びたら

- (1) 本葉が5枚程度になったら親づるを摘芯して、子づるを伸ばします。子づるも摘心すると孫づるが伸びます。

＊ゴーヤの実は親づるより子づるや孫づるのほうになりやすいようですから、子づる・孫づるを増やすことによって収穫量を増やすことができます。



- (2) ネットなどを用意して、つるが巻き付くことができるようにしてあげましょう。つるが上手に巻きついていないときは、園芸用テープなどでネットに結んで助けます。

- (3) 子づるは上にのばさずに、できるだけ横に伸びるよう誘導しましょう。なるべく早い段階で、必要となるネットの横幅まで広げましょう。

＊つるはまっすぐ上に伸びようとしません。初めの段階で伸びてきた子づるをしっかり横に誘導して広げておかないと、根元がスカスカのカーテンになってしまいます。注意しましょう。



- (4) 必要な高さまで伸びたら、子づる・孫づるの先端を切ります。

⑤ 花が咲いたら

(1) ゴーヤには雄花と雌花が咲きます。初めのうちは雄花しか咲きませんが、後から雌花が咲いてきます。自然に虫が受粉をしてくれますが、違う株の雄花の花粉を雌花に人工受粉させるとよい種を取ることができます。人工受粉は、筆の先に花粉をつけて行う方法がありますが、直接雄花を摘み取り雌花に受粉させても構いません。

＊2週間に1度くらい、有機肥料をあげるとよく育ちます。

＊ゴーヤは水をよく吸うので、水やりをこまめにしてあげましょう。特にプランターは乾きやすいので注意が必要です。

(2) 開花して2～3週間ほどで収穫できます。ゴーヤの種類は「太れいし」や「長れいし」などいろいろありますので、太さや長さで判断せず、いぼの谷間の色やお尻のあたりの色が薄くなってきたものを収穫します。残念ながら黄色になってしまったゴーヤは歯ごたえや栄養価が落ち、ゴーヤ本来の苦味もありますが食べることはできます。また、赤くなった種の周りは甘く、食すことができます。

＊黄色になったゴーヤはそのまま完熟させて、来年用の種を収穫することができます。黄色になってしまったゴーヤをそのまま追熟させると、実が割れてしまい種が落ちますので、袋や網をかけるなど工夫しましょう。

⑥ 片付け

(1) 秋口涼しくなったら、種を取り風通しのよい冷暗所で種を乾かし、乾燥したら手のひらでやさしくこすって種についた汚れを落とします。密閉容器に入れて、冷蔵庫などに入れておくとよいでしょう。また来年、この種で緑のカーテンを作りましょう。

(2) ネットを片付けます。緑のカーテンはそのまま取り外すと重量があり、つるも絡んでいるので取り扱いが大変です。初めに根元を切って数日放置しておきましょう。つるをよく乾燥してから外すと外しやすくなり、つるの処分も簡単になります。ネットは来年も利用しましょう。

※緑のカーテンハンドブック（NPO法人緑のカーテン応援団）を基に、育成者からのアンケートから、その体験談をまとめました。

船橋市 環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室
〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25
Tel : 047-436-2465 Fax : 047-436-2487
Email : zerocarbon@city.funabashi.lg.jp

